

---

上司と同僚の思惑を理解する  
(組織行動)

SHINICHI TAKEUCHI

---

01. 増員を渋る上司 (A)
02. 増員を渋る上司 (B)
03. こどもの病気と会議準備
04. ある定時後のクレーム
05. 人手不足に悩む松井店長

## 教員プロフィール

- ・氏名 竹内 伸一 (Shinichi Takeuchi)
- ・研究科 マネジメント研究科
- ・研究分野 ケースメソッド教育

### ・プロフィール

1988年早稲田大学教育学部卒業。マツダ株式会社を経て、2004年慶應義塾大学大学院経営管理研究科修士課程修了、2011年慶應義塾大学大学院商学研究科博士後期課程単位取得退学、2015年広島大学大学院教育学研究科博士課程後期修了（博士（教育学））。

2004年ケースメソッド教育研究所代表、2006年株式会社ケースメソッド教育研究所代表取締役。2006年慶應義塾大学大学院経営管理研究科特別研究助手、同講師、特任准教授を経て、2016年徳島文理大学人間生活学部教授、2018年名古屋商科大学大学院マネジメント研究科教授。

マツダ株式会社では国内販売会社の経営管理を人材育成の側面から主導し、国内拡販プログラムとしてのMazda Sales Expansion、ならびに社内変革プログラムとしてのStrategic Initiativesに参画。当時の親会社フォードの主要ブランド6社との国内事業交流イニシアチブであるFord Exchange Programメンバーとして、米国ディアボーンでも活動した。

現在の専門領域はケースメソッド教育で、その探求のための学問バックグラウンドは教育哲学・教育方法学・専門職教育史・教育経営学・組織行動学・管理会計学と、教育学と経営学の両面からアプローチできる立場にある。ケースメソッド教育の組織導入実績および著書・論文・記事多数。

# オンライン MBA モジュール 1

## 上司と同僚の思惑を理解する（組織行動）

2019/9/25-2019/10/9

アサインメントへの回答は、ワード等を用いて、必ず「文章で」書いてください。箇条書きやメモ書きでなく、ひとまとまりの論理と構造をもった文章として書き出すことに、ぜひチャレンジしてみてください。

書きぶりは堅くても柔らかくても結構です。あなたの気分が上がる書き出し方で、思い切って述べてみてください。【目標文字数】は少なくともこれくらいは書いて欲しいと私が思っている文字数です。タイプが走り出したら、これ以上の文字数になっても喜んで読ませてもらいますが、冗長にならないような留意だけはお願いします。

### Assignments for DAY1, 2019/9/25

#### Session 1

使用ケース：

「増員を渋る上司（A）」

「増員を渋る上司（B）」

（上記の2ケースを併用します）

アサインメント：

1) 上司の阿部にサポート担当者の増員を求めたさくらを、また、そのさくらの求めに「渋い顔」で応えた阿部を、あなたはそれぞれどう思いますか。【目標文字数800字程度】

2) さくらと阿部がお互いを理解し合える可能性は、どの程度あると期待してもよいのでしょうか。また、その一方で、相互理解の限界はどの辺りまでだと思っておくことが必要ですか。【目標文字数800字程度】

### Assignments for DAY2, 2019/10/2

#### Session 2

使用ケース：

「こどもの病気と会議準備」

「ある定時後のクレーム」

（上記の2ケースを併用します）

アサインメント：

1) 広報課の真央はどのような問題を抱えていますか。【目標文字数 500 字程度】

2) 同様に、営業部の朱里についてはどうですか。【目標文字数 500 字程度】

3) 二人が抱えている問題には、どのような共通点を見出すことができますか。また、その共通点の根っこには、職場の職務管理上のどのような問題が、あるいは真央や朱里のどのような理解不足や誤認があるのでしょうか。【目標文字数 600 字程度】

# オンライン MBA モジュール 1

## 上司と同僚の思惑を理解する（組織行動）

2019/9/25-2019/10/9

### Assignments for DAY3, 2019/10/9

#### Session 3

使用ケース：

「人手不足に悩む松井店長」

アサインメント：

1) 田中さんと佐藤さんの時給を上げ、鈴木さんの時給を下げるという松井店長の経営判断について、あなたはどのように思いますか。その賛否、擁護や批判、そうなった背景や理由、この判断の先にあることがらなど、できるだけ幅広い角度から述べてください。【目標文字数 800 字程度】

2) あなたが鈴木さんなら、店長による時給ダウン提示にどう対応しますか。まずは、コンビニを舞台に、鈴木さんの代理人としてのあなたの回答を簡単に述べてください。続いて、物語の舞台をコンビニから実際のあなたの職場に移し、時給ダウンを月収や賞与のダウンなどに置き換えてみて、コンビニでの鈴木さんとよく似た構造の問題としてあなたの身に降りかかってきたときのあなたの対応について、今度は少し詳しく述べてください。（現在すでに退職している方は、最後に勤務していた会社の職場に置き換えて考えてみてください）【目標文字数 800 字程度】